

令和6年／令和7年 事業報告書

自 令和6年(2024年)11月 1日

至 令和7年(2025年)10月 31日

特定非営利活動法人 楽知ん研究所

らく ち
楽知ん[®]研究所

1. 事業の成果

1.1 「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」の実施および研究開発

「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」(以下、親子孫講座と略称)は、本格的な科学のたのしさを授業書を丸ごと使って大人から子どもまで一緒に学べる講座である。この講座に参加し、仮説実験授業の魅力を知り、大人も夢中になって〈たのしい科学〉の世界へ踏み込んでいく、楽知ん研究所の中核の事業である。

2024年度の冬には新テーマ〈電気とその流れ〉を一部の地域6会場で実施した。希望する人はさらに深く学べる〈第3部〉〈第4部〉にも参加を希望し、〈2日間講座〉〈+1日講座〉という新しい講座スタイルで実施した。

夏には、2年ぶりに全国一斉に統一テーマ〈自由電子が見えたなら〉を実施し、各主催者は複数回開催を企画したこともあり、この夏(7~9月)の2日間講座は、これまでで最大規模の70会場1171人の参加があった。2日間講座に1日追加する「+1日講座」を導入した結果、約4割という高いリピート率を実現した。

1会場あたりの人数は横ばい(平均17名)のため、リピーターの定着と、より広い会場の確保が課題であることを認識した。

1.2 「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」の主催を普及する事業

・親子孫講座ワークショップ

10回目となる「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」ワークショップを2024年12月に実施して終了した。コロナ感染で中止した2年をふくめ、12年間10回の開催を経て、新たな主催者が加わるきっかけの事業となった。

・キックオフ会の開催

2025年5月のキックオフ会では30人が集まり、〈自由電子が見えたなら〉の講座体験や主催に向けた具体的な指針の交流が行われた。

これらの会を通じて、初めて講座を主催する有志への支援やノウハウの共有が進み、夏の全国開催に向けた強力な推進力が形成された。

1.3 〈大道仮説実験〉講座の実施および研究開発

〈大道仮説実験〉講座は、子どもから大人までが気軽にたのしめる〈科学入門教育の講座〉である。全国各地の当法人会員が中心となり、公共図書館、公民館等からの依頼や、また主催者となって親子孫を対象に実施している。講座内容は今までに当法人が開発した〈大道仮説実験〉のフリップブックに基づいた一連の実験・体験、及びそれに関するものづくり等である。各地域の主催者が自主企画・依頼講座として講座を実施し、科学入門教育の幅広い切り口となった。

今事業年度は新たに社会の科学の大道仮説実験〈ピットンコの法則〉を開発した。

1.4 〈大道仮説実験〉講師への道講座

〈大道仮説実験〉講座を〈科学入門教育の講座〉として、また、各地の講師が地域社会で人づくりにつながるプログラムとして実施できるよう、お互いに学びあう場として、〈大道仮説実験〉講師への道講座を2014年度より継続して実施している。

本事業年度は、リアルに集まる研究会としては、実施しなかった。

1.5 〈ぶんしっし〉講座・もっと〈ぶんしっし〉講座の実施

〈ぶんしっし〉講座は、カードゲーム〈ぶんしっし〉で原子分子と親しくなる講座で、「もっと〈ぶんしっし〉講座」は、5000万倍の分子模型を自分でつくることで、原子論に入門する講座である。2017年にスタートしたこの講座は、徐々に主催者が広がっている。

本事業年度も、引き続きこの講座の実施をする主催者が多く、当該地域の教育委員会後援を得ておもに夏休み以外の時期に実施した。

1.6 @ホーム講座実施事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにふえた自宅滞在をキッカケにスタートした、主催者と参加者が〈たのしい科学〉を間につながりを深める講座。5000万倍の分子模型づくりをテキストを見ながら自分でつくる「〈もっとぶんしっし〉@ホーム講座」と、ミョウバンの結晶育成をたのしむ「はじめての結晶づくり@ホーム講座」の2種類を設定した。携帯で撮影する写真レポートなどを組みあわせ、参加者と離れたところにいる主催者がつながり、リアルな講座にもいずれ足を運んでもらうよう企画した。

本事業年度は、大道仮説実験〈ならんでならんで〉講座実施後にミョウバンの結晶作りにチャレンジする@ホーム講座への参加者があった。

1.7 委託事業

今事業年度の委託事業では、昨年度までと同じ団体からの委託をうけほぼ同数の講座を実施した。図書館や生涯学習センターなどに依頼される事業に関しては、運営が指定管理になる影響があり、委託事業数が減少傾向である。事業収入としてはコロナ感染拡大前の3分の2程度にとどまっている。

1.8 〈初等科学史研究会〉実施事業

〈仮説実験授業大衆化への道〉研究会&講座および〈もっとぶんしっし〉講座&研究会を継続して実施しているが、他事業のスケジュールとの兼ね合いで、本事業年度の期間中の実施はなかった（2024年10月と2025年12月に実施）。

1.9 出版物、教材及び教育玩具の制作及び販売

本事業年度も、親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座にて使用する授業書や紙芝居・実験セット、〈もっとぶんしっし〉講座、〈ものの見方考え方〉講座などを通じた研究により、『ものの見方考え方WORKS』、『楽知んパンフ』をはじめとする研究紙・気軽に読める読み物、

及び教育玩具の開発・作成及び販売を行うことができた。

発行25年目を迎える『楽知んカレンダー』は、「暦人(こよみびと)」として発行を応援する人が徐々に定着しているが顕著な広がりはありません。今事業年度は講座の参加者にアプローチする試みを行うことを想定して、2500部（前年+500部）を発行し、ほぼ完売となった。ふつうの人がたのしみ親しめる知の普及をめざし、普及の方法・内容の充実・本文カラー化・発送作業の分業化・SNSによる周知の方法なども研究中である。

2. 特定非営利活動に係る事業実施に関する事項

2.1 「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」実施事業

2.1.1 新規テーマ 〈電気とその流れ〉 〈自由電子が見えたなら〉

受益対象者の範囲及び人数

一般の小学生以上の親子孫。各地の主催者が、当該地域教育委員会の後援をいただきチラシ配布・ウェブ・SNSにて広く参加を呼びかけた。

【開催結果】

〈電気とその流れ〉

開催会場： 6会場（長野・愛知・三重）

参加者： 58組の親子孫 計 130人（うち62人が〈+1日講座〉にも参加）

〈自由電子が見えたなら〉

開催会場： 70会場（北海道・青森・宮城・新潟・千葉・埼玉・東京・神奈川
・群馬・山梨・長野・福井・愛知・三重・京都・大阪・鳥取・熊本
・長崎・鹿児島）

参加者： 484組の親子孫 計1171人（うち445人が〈+1日講座〉にも参加）

2.1.2 前年度以前に取り組んだテーマでの開催

受益対象者の範囲及び人数

一般の小学生以上の親子孫。各地の主催者が、当該地域教育委員会の後援をいただきチラシ配布・ウェブ・SNSにて広く参加を呼びかけた（通年）。

テーマ	講座数 (会場)	参加組数 (組)	参加人数 計 (人)	子ども (人)	大人 (人)
〈世界の国旗〉	5	24	53	25	28
もっと〈世界の国旗〉	2	10	15	4	11
〈30倍の世界〉	3	11	24	11	13
〈磁石〉	8	27	59	27	32
合計	18	72	151	67	84

【開催結果】

開催会場： 4テーマ 合計 18 会場（北海道・埼玉・神奈川・長野・福井・愛知・鳥取・熊本）

参加者： 72組の親子孫 計 151人

2.2 「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」の主催を普及する事業

親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座ワークショップ

受益対象者の範囲：〈親子孫講座〉をまるごとたのしみたい家族

・各地の主催者・主催希望者

周知の方法：ウェブおよび仮説実験授業の関係者にむけて告知

【開催結果】

・日時 2024年12月21日(土)～22日(日)

自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター（愛知県岡崎市）にて

・参加者 38人

・テーマ 〈電気とその流れ〉

〈仮説実験授業〉大衆化への道 講座&研究会

受益対象者の範囲：各地の主催者・主催希望者

周知の方法：ウェブおよび仮説実験授業の関係者にむけて告知

本事業年度に募集は行ったが、開催そのものは当事業年度の期間外

(2025年12月) となった。

親子孫講座 授業書・実験セット検討会・キックオフ会

受益対象者の範囲：各地の主催者・主催希望者

周知の方法：主催者むけメールリストで告知

【開催結果】

親子孫講座〈自由電子が見えたなら〉実験セット検討会

日時 2025年3月18日(火)～19日(水)

ころりんハウス（愛知県名古屋市）にて

参加者 11人

親子孫講座〈電子レンジと電磁波〉検討会

日時 2025年4月2日(水)～3日(木)

ころりんハウス（愛知県名古屋市）にて

参加者 8人

親子孫講座〈自由電子が見えたなら〉キックオフ会

日時 2025年5月18日(日)～19日(月)

アートホテル成田（千葉県成田市）にて

参加者30人

2.3 〈大道仮説実験〉 講座 実施事業

受益対象者の範囲：各地の主催者が募集する地域の小学生以上の親子

周知の方法：当該地域の教育委員会の後援を得てチラシ配布・ウェブおよびこれまでの参加者に告知

【開催結果】

開催会場 2テーマ 6会場（東京・長野）

参加者 19組 47人の親子孫

テーマ	講座数 (会場)	参加組数 (組)	参加人数計 (人)	子ども (人)	大人 (人)
〈ころりん〉	1	5	9	3	6
〈しゅぼしゅぼ〉	5	14	38	19	19
合計	6	19	47	22	25

2.4 〈大道仮説実験〉 講師への道講座 実施事業

実施せず

2.5 〈ぶんしっし〉・もっと〈ぶんしっし〉 講座 実施事業

カードゲーム〈ぶんしっし〉および〈もっとぶんしっし〉講座

受益対象者の範囲：各地の主催者が募集する地域の小学生以上の親子

周知の方法：各地の主催者ごとに当該地域の教育員会後援を得て、チラシ・ウェブおよびこれまでの参加者と参加者の関係者にむけて告知

【開催結果】

講座数 124講座（北海道・宮城・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・福井・長野・愛知・京都・鳥取・熊本）

参加人数 のべ1233人（前年度 948人）

テーマ	講座数 (会場)	参加組数 (組)	参加人数 (人)	子ども (人)	大人 (人)
ぶんしっし講座 ちょ～入門	46	285	644	319	325
〈もっと〉1 アルコールのぶんしっし	21	81	168	80	88
〈もっと〉2 二日酔いとすっぱいぶんしっし	22	78	153	68	85
〈もっと〉3 ぱんつのぶんしっしのヒミツ	16	58	118	50	68
〈もっと〉4 カメのぶんしっし	9	35	65	28	37
〈もっと〉5 あなたもぶんしっし職人？	5	27	52	23	29
〈もっと〉6 わたしもぶんしっし職人！	3	15	27	12	15
〈もっと〉7 原子々分子々は動く！	0	0	0	0	0
〈もっと〉8 原子々・分子々・真空, 生まれる！	1	3	3	0	3
〈もっと〉9 原子々・分子々は, めぐる！	1	3	3	0	3
合計	124	585	1233	580	653

2.6 @ホーム講座実施事業

〈はじめての結晶づくり〉@ホーム講座

受益対象者の範囲：各地の主催者が直接連絡がとりあえるリピーター家族

周知の方法：大道仮説実験〈ならんでならんで〉講座開催時ほかで適宜呼びかけ

参加家族数 4組

2.7 委託事業

以下の講座を実施した。

テーマ	委託先	参加組数 (組)	参加人数 計 (人)	子ども (人)	大人 (人)
〈ぴりりん〉	名古屋市図書館	8	20	10	10
〈ならんでならんで〉		8	19	11	8
〈ぴったんこ！の法則〉	東海高校サタデープログラム	20	21	11	10
〈モクモク〉		29	72	40	32
〈しゅぼしゅぼ〉	トヨタ産業技術記念館	20	40	20	20
〈ならんでならんで〉	名古屋市教育委員会生涯学習課	9	26	15	11
合計		94	198	107	91

2.8 初等科学史研究会の実施

告知を行った。事業年度期間中の開催は、なし。

2.9 出版物，教材及び教育玩具の制作及び販売事業

科学入門教育に関する出版物，教材及び教育玩具の開発・制作及び販売を行った。

出版物

・カレンダー

『楽知んカレンダー』2025年/年度版(2024年12月1日 2500部) 本体600円

・研究誌

『ものの見方考え方WORKS 別冊2』(2025年9月20日 初版100部) 本体1800円

・楽知んパンフレット

「みんなでフランクリンになろう！(楽知んパンフ004)」

(2025年3月30日 初版500部) 本体500円

「絵は〈自由に描く〉ではありません〈自由になるために描く〉のです

(楽知んパンフ005)」(2025年3月30日 初版500部) 本体500円

「私たちが経済的自立をする理由(わけ)(楽知んパンフ006)」

(2025年10月10日 初版500部) 本体500円

講座関連生産物

親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座

テーマ〈電気とその流れ〉

〈2日間講座〉(第1部・第2部)用

授業書・実験セット一式・電子紙芝居

〈+1日間講座〉(第3部)用

授業書・実験セット一式・電子紙芝居

〈++1日間講座〉(第4部)用

授業書・実験セット一式・電子紙芝居・読み物(楽知んパンフ004)

テーマ〈自由電子が見えたなら〉

〈2日間講座〉(第1部・第2部)用

授業書・実験セット一式・電子紙芝居

〈+ 1 日間講座〉(第 3 部・第 4 部) 用
授業書・実験セット一式・電子紙芝居

機関紙等

・ 会員向け交流紙

「楽知んフムフム」 No.1 2024年11月 8ページ

「楽知んフムフム」 No.2 2025年 2月 8ページ

「楽知んフムフム」 No.3 2025年 5月 12ページ

「楽知んフムフム」 No.4 2025年 8月 12ページ

・ 報告（寄付者・会員）

2025年3月 春分の日に〈笑顔の流れ〉の報告 ジャンボはがき

2025年9月 秋分の日〈笑顔の流れ〉の報告 ジャンボはがき

3. 会議の開催に関する事項

3.1 通常総会

日時 令和6年12月22日(日) 11時30分～12時30分

場所：自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター 中会議室

議題

1. 第19期(2023/2024年度) 事業報告について
2. 第19期(2023/2024年度) 収支決算報告について
3. 第20期(2024/2025年度) 事業計画案の承認について
4. 第20期(2024/2025年度) 収支予算案の承認について

3.2. 理事会

第1回理事会

日時：令和6年11月14～17日 メールにて

議題：

1. NPOの前年度総括について
2. 組織の強化に向けて
3. Zoomによる理事会開催について

第2回理事会

日時：令和6年12月14～17日 メールにて

議題：

1. ワークショップ・総会の準備について
2. 新理事，理事の変更について
3. 巡回ワークショップの構想(2026年～)について
4. 倉庫の引っ越しについて

第3回理事会

日時：令和7年1月14～17日 メールにて

議題：

1. 新年にあたり，未来を考える
2. ハッピーバンジー輸出対応顛末について
3. 事業年度の報告書類（所轄庁・法務局・税務署）について
4. 法人登記の状況について
5. NPO法人の顧問の委嘱について

第4回理事会

日時：令和7年2月14～17日 メールにて

議題：

1. 「楽知んフムフム」第2号について
2. 5月のキックオフ会について
3. 著作権料など未処理事案について（提案）
4. macserverの契約更新について

第5回理事会

日時：令和7年3月14～17日 メールにて

議題：

1. 個人出品の支払い処理について
2. 実験道具等作業代について
3. LINEWORKS契約について
4. 定例「事務zoom会議」について
5. 「楽知パンフ」今後の刊行予定について

第6回理事会

日時：令和7年4月14～17日 メールにて

議題：

1. 〈本の花束〉への広告掲載について
2. 過去テーマを「〈2日講座〉＋〈+1日講座〉」化するにあたって
3. Salesforceへの講座の記録体制について
4. 「楽知んフムフム」第3号について

第7回理事会

日時：令和7年5月14～17日 メールにて

議題：

1. 主催者の行動指針作成について
2. 講座運営LINEについて
3. 授業書別「主催者向け準備マニュアル」について

第8回理事会

日時：令和7年6月14～17日 メールにて

議題：

1. 「親子孫巡回ワークショップ」の日程的な流れと次期開催地について
2. カレンダー編集作業について

3. 主催者の行動指針作成について

第9回理事会

日時：令和7年7月14～17日 メールにて

議題：

1. 理事・事務局に事故あるときの対処について
2. 親子孫講座の実験セット・授業書の発送作業の見直しについて
3. LINE WORKSの活用について（提案）

第10回理事会

日時：令和7年8月14～17日 メールにて

議題：

1. 講座主催者の精算方法について
2. 商店街運営のサポートについて
3. 講座運営スタッフ会議について
4. 会員交流誌「楽知んフムフム」について

第11回理事会

日時：令和7年9月14～17日 メールにて

議題：

1. 総括の分担とスケジュールについて
2. はじめての力学〉検討会について
3. 総括の分担とスケジュールについて

日時：令和7年10月14～17日 メールにて

議題：

1. 総括案について
2. 2億倍分子模型の製作体制の変更について（報告）
3. 寄付金から基金への有価証券購入の定期的確認について
4. カレンダー発送集会をについて

以上